

報道機関各位

岩手県農業研究センター

りんご畑に生息する天敵を増やして害虫退治！ ～天敵の生息場所「下草」の刈り残しで農薬使用を削減～

農業研究センターでは、りんご畑の下草を刈り残すことにより、りんごの重要害虫であるハダニ類の増殖を抑制できることを明らかにしました。

ハダニ類は、りんご栽培で特に問題となる害虫で、農薬に対する抵抗性が付きやすいことから、当センターでは農薬に頼らないハダニ類の管理方法について検討してきました。

今回の検討により、りんご畑の下草をわざと刈り残す（刈高8 cm 以上）ことで、ハダニ類の天敵であるカブリダニ類を保護し、農薬の使用を減らしながらハダニ類の発生を抑制できることを示しました。

本成果は、県内全域のりんご栽培地域で活用できます。高価な農薬の使用に依存しない新たな防除技術として、生産者の所得向上に寄与するものと考えています。なお、りんご樹上でカブリダニ類によるハダニ類密度抑制効果が明確に現れる時期は8月以降です。

記

1 成果の内容

- (1) 下草を刈り残しているりんご畑では、天敵となるカブリダニ類が増殖していることを確認しました。また、下草を刈り残すと、りんご樹上でも天敵となるカブリダニ類が増殖していました。
- (2) 下草を刈り残して管理したうえで、カブリダニ類に影響が少ない農薬を活用すると、樹上でのハダニ類の発生を抑制できます。

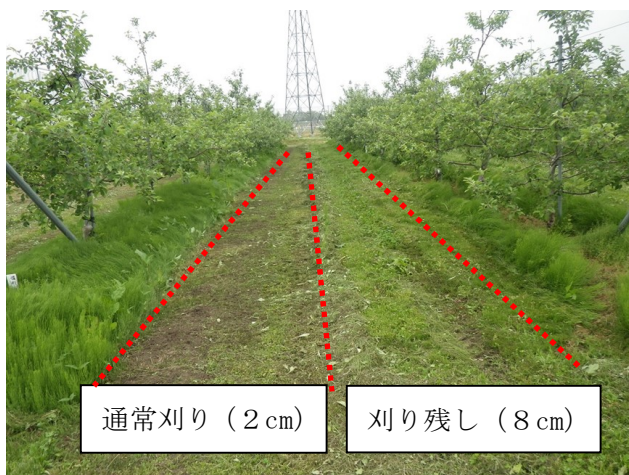


写真1 通常刈りと刈り残し



写真2 ナミハダニ



写真3 カブリダニ

研究担当：生産環境研究部病理昆虫研究室（藤沢） TEL：0197(68)4424 FAX：0197(71)1085
広報担当：企画管理部研究企画室（工藤） TEL：0197(68)4402 FAX：0197(68)2361